

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第15期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)
【会社名】	株式会社ミクシィ
【英訳名】	mixi, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 朝倉 祐介
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役最高財務責任者 荻野 泰弘
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役最高財務責任者 荻野 泰弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第2四半期 連結累計期間	第15期 第2四半期 連結累計期間	第14期
会計期間			
売上高 (百万円)	6,817	3,979	12,632
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	1,583	525	2,629
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (百万円)	1,205	1,352	1,654
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,184	1,293	1,691
純資産額 (百万円)	15,774	14,664	16,291
総資産額 (百万円)	19,876	17,480	20,083
1株当たり四半期(当期)純利 益金額又は四半期純損失金額 ( ) (円)	80.77	90.56	110.83
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	80.69	-	110.73
自己資本比率 (%)	79.1	83.5	80.8
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,694	448	2,836
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	483	2,774	946
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	137	327	137
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	9,450	11,247	9,199

回次	第14期 第2四半期 連結会計期間	第15期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( ) (円)	43.06	73.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
4. 第15期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（ソーシャルネット事業）

当第2四半期連結会計期間において、SNS「mixi」の広告販売事業等を営む株式会社ミクシィマーケティングを会社分割（新設分割）により新規設立し、連結子会社としております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	6,817	3,979	41.6%
営業利益又は営業損失( ) (百万円)	1,612	398	- %
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	1,583	525	- %
四半期純利益又は四半期純 損失( )(百万円)	1,205	1,352	- %
アプリ会員数	760万人 (平成24年9月)	1,250万人 (平成25年9月)	-

(注) アプリ会員数は、当社グループ提供のスマホアプリダウンロード数の積算値(当社調べ)になります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策への期待感から円安・株高が進行し、個人消費や企業業績の一部に持ち直しの動きが見られたものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や欧州経済の長期低迷等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

インターネット関連業界におきましては、「2012年度通期国内携帯電話端末出荷概況」(株式会社MM総研)によりますと、平成24年度のスマートフォン出荷台数は前年度比23.0%増の2,972万台で総出荷台数の71.1%となり、スマートフォンへの移行が加速しております。

このような経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,979百万円(前年同四半期比41.6%減)となり、営業損失は398百万円(前年同四半期は営業利益1,612百万円)、経常損失は525百万円(前年同四半期は経常利益1,583百万円)となりました。また、当社において繰延税金資産の回収可能性を将来の不確実性を含め慎重に検討した結果、繰延税金資産を当第2四半期累計期間において全額取崩したため、四半期純損失は1,352百万円(前年同四半期は四半期純利益1,205百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ソーシャルネット事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	6,287	3,455	45.0%
広告売上高(百万円)	2,696	801	70.3%
課金売上高(百万円)	3,591	2,654	26.1%
セグメント利益(百万円)	2,374	594	75.0%

ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」におきましては、「つながりをつくる」というサービス価値の最大化に向けた取組みを推進しております。スマートフォンデバイスの普及に対応するため、コミュニティ・メッセージ・日記といった主要機能のスマートフォンアプリの提供を開始しております。また、11月にはコミュニティの情報の一部をインターネット検索の対象にすることを予定しており、同じ趣味・関心を持つ人同士をコミュニティでつなげ、サービスの活性化を図ってまいります。

加えて、新しい取組みとして、スマートフォンネイティブゲームである「スピナン」や「モンスターストライク」の提供を開始しております。

収益面では、当初計画では、スマートフォン版「mixiゲーム」のリニューアルによる課金売上高の拡大を見込んでおりましたが、スマートフォン版「mixiゲーム」の売上拡大が計画どおり進捗しなかったこと、フィーチャーフォン版「mixiゲーム」の売上が減少していることから、課金売上高は減少しております。一方、広告売上においては、デバイス環境の変化等の影響から広告売上高が減少しております。

この結果、当事業の売上高は3,455百万円（前年同四半期比45.0%減）、セグメント利益は594百万円（前年同四半期比75.0%減）となりました。

#### Find Job !事業

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	498	422	15.2%
セグメント利益(百万円)	410	331	19.2%

Web系求人サイト「Find Job !」におきましては、Web系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ることで収益の拡大を目指してまいります。しかしながら、IT業界において一部採用抑制などの動きが見られることもあり、当事業の売上高は422百万円（前年同四半期比15.2%減）、セグメント利益は331百万円（前年同四半期比19.2%減）となりました。

#### その他の事業

インターネットリサーチやフォトブックサービス「ノハナ」等の新規事業を行っております。

インターネットリサーチにおいては、7月に「mixi」ユーザー向けのネットリサーチの提供開始するとともに、12月に店舗等での覆面調査を行うミステリーショッピングサービスの取得を予定しております。

また、「ノハナ」におきましては、会員数が順調に増加（10月末現在で約50万人）しております。更なる事業拡大を図るため9月に完全子会社として株式会社ノハナを設立するとともに、11月に新サービスとして「ノハナ年賀状」の提供を開始しました。

加えて、11月に街コンイベントを運営する株式会社コンフィアンザの全株式を取得し、12月に結婚支援事業を運営する株式会社Diverseの全株式を取得する予定であり、売上高の拡大を図ってまいります。

## (2) 財政状態の分析

### 財政状態

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が14,711百万円（前連結会計年度末比2,006百万円減少）となり、主な要因としては、現金及び預金と売掛金の減少があげられます。固定資産は2,769百万円（前連結会計年度末比596百万円減少）となり、主な要因としては、繰延税金資産の取崩しによる減少があげられます。

負債については、流動負債が2,738百万円（前連結会計年度末比992百万円減少）となり、主な要因としては、未払金及び預り金の減少があげられます。固定負債は77百万円（前連結会計年度末比17百万円増加）となりました。純資産は14,664百万円（前連結会計年度末比1,627百万円減少）となり、主な要因としては、利益剰余金の減少があげられます。

### キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて2,048百万円増加し、11,247百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は448百万円（前年同四半期は1,694百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が552百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は2,774百万円(前年同四半期は483百万円の獲得)となりました。これは主に、定期預金の払戻による純収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は327百万円(前年同四半期は137百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数は47名減少し、430名となりました。その主な理由は、ソーシャルネット事業の中国における開発拠点を閉鎖したことによるものであります。

提出会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社の従業員数は80名減少し、330名となりました。その主な理由は、SNS「mixi」の広告販売事業等を営む株式会社ミクシィマーケティングを会社分割(新設分割)により子会社化したこと、及び新規に設立した子会社(株式会社ノハナ)への転籍等によるものであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,800,000
計	52,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,510,600	15,510,600	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株で あります。
計	15,510,600	15,510,600	-	-

(注) 「提出日現在発行数」の欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年9月30日	-	15,510,600	-	3,765	-	3,735

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
笠原 健治	東京都渋谷区	8,347,600	53.82
清水 優	兵庫県川西市	265,000	1.71
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB, UK (東京都港区六本木6丁目10-1)	196,800	1.27
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS AGENT BNYM AS EA DUTCH PENSION OMNIBUS 140016 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	THE BANK OF NEW YORK MELLON ONE WALL STREET NEW YORK, NY 10286 U. S. A. (東京都中央区月島4丁目16-13)	184,000	1.19
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	153,000	0.99
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋1丁目9-1	115,155	0.74
朝倉 祐介	東京都目黒区	110,000	0.71
荻野 泰弘	神奈川県横浜市	90,000	0.58
山口 貴弘	大阪府大阪市	89,500	0.58
CREDIT SUISSE SECURITIES(EUROPE) LIMITED MAIN ACCOUNT (常任代理人 クレディ・スイス証券株式 会社)	ONE CABOT SQUARE LONDON E14 4QJ (東京都港区六本木1丁目6-1)	83,536	0.54
計	-	9,634,591	62.12

(注) 上記のほか、自己株式が578,600株(3.73%)あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 578,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,930,100	149,301	-
単元未満株式	普通株式 1,900	-	-
発行済株式総数	15,510,600	-	-
総株主の議決権	-	149,301	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ミクシィ	東京都渋谷区東 一丁目2番20号	578,600	-	578,600	3.73
計	-	578,600	-	578,600	3.73

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,199	12,247
売掛金	3,266	2,290
その他	361	268
貸倒引当金	110	96
流動資産合計	16,717	14,711
固定資産		
有形固定資産	916	755
無形固定資産	277	282
投資その他の資産		
投資有価証券	1,192	1,198
その他	1,048	603
投資損失引当金	68	70
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	2,171	1,730
固定資産合計	3,365	2,769
資産合計	20,083	17,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	925	588
未払法人税等	377	141
預り金	2,116	1,813
賞与引当金	197	148
その他	114	46
流動負債合計	3,731	2,738
固定負債		
資産除去債務	21	18
その他	38	58
固定負債合計	59	77
負債合計	3,791	2,816
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,765	3,765
資本剰余金	3,735	3,735
利益剰余金	10,409	8,728
自己株式	1,690	1,690
株主資本合計	16,220	14,539
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4	62
その他の包括利益累計額合計	4	62
新株予約権	67	59
少数株主持分	-	2
純資産合計	16,291	14,664
負債純資産合計	20,083	17,480

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,817	3,979
売上原価	1,968	1,399
売上総利益	4,849	2,580
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 3,237	<sup>1</sup> 2,978
営業利益又は営業損失( )	1,612	398
営業外収益		
受取利息	5	2
投資事業組合運用益	3	-
為替差益	-	20
その他	6	8
営業外収益合計	15	32
営業外費用		
持分法による投資損失	14	126
投資事業組合運用損	-	21
為替差損	29	-
その他	0	11
営業外費用合計	44	159
経常利益又は経常損失( )	1,583	525
特別利益		
関係会社株式売却益	406	-
新株予約権戻入益	7	12
特別利益合計	413	12
特別損失		
固定資産除却損	3	5
減損損失	-	35
のれん償却額	<sup>2</sup> 56	-
特別損失合計	60	40
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,937	552
法人税、住民税及び事業税	575	132
法人税等調整額	155	666
法人税等合計	731	799
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	1,205	1,352
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,205	1,352

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	1,205	1,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	-
為替換算調整勘定	20	58
その他の包括利益合計	20	58
四半期包括利益	1,184	1,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,184	1,293

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,937	552
減価償却費	233	160
減損損失	-	35
のれん償却額	69	44
貸倒引当金の増減額( は減少)	57	14
賞与引当金の増減額( は減少)	8	49
受取利息及び受取配当金	5	2
為替差損益( は益)	18	11
持分法による投資損益( は益)	14	126
投資事業組合運用損益( は益)	3	21
固定資産除却損	3	5
関係会社株式売却損益( は益)	406	-
売上債権の増減額( は増加)	1,171	976
未払金の増減額( は減少)	158	311
未払消費税等の増減額( は減少)	22	63
預り金の増減額( は減少)	315	303
その他	36	163
小計	2,612	104
利息の受取額	7	4
法人税等の支払額	924	348
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,694	448
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	2,000	1,000
定期預金の払戻による収入	2,000	4,000
有形固定資産の取得による支出	28	34
無形固定資産の取得による支出	5	76
投資有価証券の取得による支出	25	278
投資有価証券の分配による収入	22	77
関係会社株式の売却による収入	465	85
その他	53	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	483	2,774
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	10	-
配当金の支払額	147	327
財務活動によるキャッシュ・フロー	137	327
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	49
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	2,027	2,048
現金及び現金同等物の期首残高	7,423	9,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 9,450	<sup>1</sup> 11,247

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	株式会社ミクシィマーケティングについては会社分割(新設分割)により新たに設立したため、アイ・マーキュリーキャピタル株式会社及び株式会社ノハナについては新たに設立したため、Scrum Ventures GP L.L.C.については新たに出資したため、それぞれ当第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	株式会社グレンジについては当第2四半期連結会計期間に保有する全株式を売却したため、持分法の適用範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	874百万円	853百万円
決済手数料	780百万円	534百万円

2. 前第2四半期連結累計期間における特別損失ののれん償却額は、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会最終改正平成23年1月12日 会計制度委員会報告第7号)第32項の規定に基づき、のれんを償却したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	12,450百万円	12,247百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	3,000百万円	1,000百万円
現金及び現金同等物	9,450百万円	11,247百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	149	1,000	平成24年3月31日	平成24年6月7日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月15日 取締役会	普通株式	328	2,200	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ソーシャル ネット事業	Find Job! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,287	498	6,786	31	6,817	-	6,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	0	14	14	14	-
計	6,287	498	6,786	45	6,832	14	6,817
セグメント利益又は損 失( )	2,374	410	2,785	72	2,713	1,100	1,612

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スマートフォンアプリの開発や米国における市場調査を行う事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 1,100百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ソーシャル ネット事業	Find Job! 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,455	422	3,878	101	3,979	-	3,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	1	10	30	41	41	-
計	3,465	424	3,889	132	4,021	41	3,979
セグメント利益又は損 失( )	594	331	926	241	684	1,082	398

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネットリサーチや新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 1,082百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 株式会社kamadoについては、従来、報告セグメントに含めておりませんでした。事業形態の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より「ソーシャルネット事業」に区分変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	全社	合計
	ソーシャル ネット事業	Find Job! 事業	計			
減損損失	35	-	35	-	-	35

(注) ソーシャルネット事業の減損損失は、上海蜜秀网络科技有限公司及び上海明希网络科技有限公司を清算する意思決定を行ったこと等に伴うものであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )	80.77円	90.56円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(百万円)	1,205	1,352
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(百万円)	1,205	1,352
普通株式の期中平均株式数(株)	14,926,329	14,932,000
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	80.69円	-円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	14,334	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成24年8月3日取締役会決議 ストック・オプション(新株予約権) 普通株式 40,300株 行使価格 1,333円	-

- (注) 1. 当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

### (株式取得による会社の買収)

当社は、平成25年10月1日開催の取締役会において、LINE株式会社の会社分割（新設分割）により結婚支援事業を承継する新設会社、株式会社Diverseの全株式を取得し子会社化することを決議し、同日付でLINE株式会社と株式譲渡契約を締結いたしました。

#### (1) 株式取得の目的

当社は、「全ての人に心地よいつながり」を提供するために、SNS「mixi」などの事業を展開してまいりました。今後も引き続きより多くの人々に多様なつながりを提供するために、また当社グループとして事業ポートフォリオの拡大を行うため、株式会社Diverseの全株式を取得し子会社化することといたしました。

株式会社Diverseは、平成11年にサービス提供を開始した結婚紹介サイト「youbride」などの結婚支援事業を運営しますが、同サイトは平成25年10月現在、累計会員数が72万人を超えて成長し続けております。なお、「youbride」などの株式会社Diverseのサービスは、SNS「mixi」との連携は行わず、単独で事業を展開してまいります。

#### (2) 株式取得の相手先の名称

LINE株式会社

#### (3) 株式取得の対象会社の概要（予定）

名称	: 株式会社Diverse
所在地	: 東京都渋谷区東一丁目2番20号
代表者	: 代表取締役 津元 啓史
設立年月日	: 平成25年12月2日
主な事業の内容	: 結婚支援事業
資本金	: 100百万円

#### (4) 株式の取得日

平成25年12月2日（予定）

#### (5) 取得する株式数、取得価額及び取得後の持分比率

取得株式数	: 2,000株	
取得価額	: 譲渡対価	1,070百万円
	: デュー・デリジェンス費用等	10百万円
	: 合計	1,080百万円
取得後の持分比率	: 100%	

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

株式会社ミクシィ

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中 桐 光 康 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 菊 地 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミクシィの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミクシィ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。